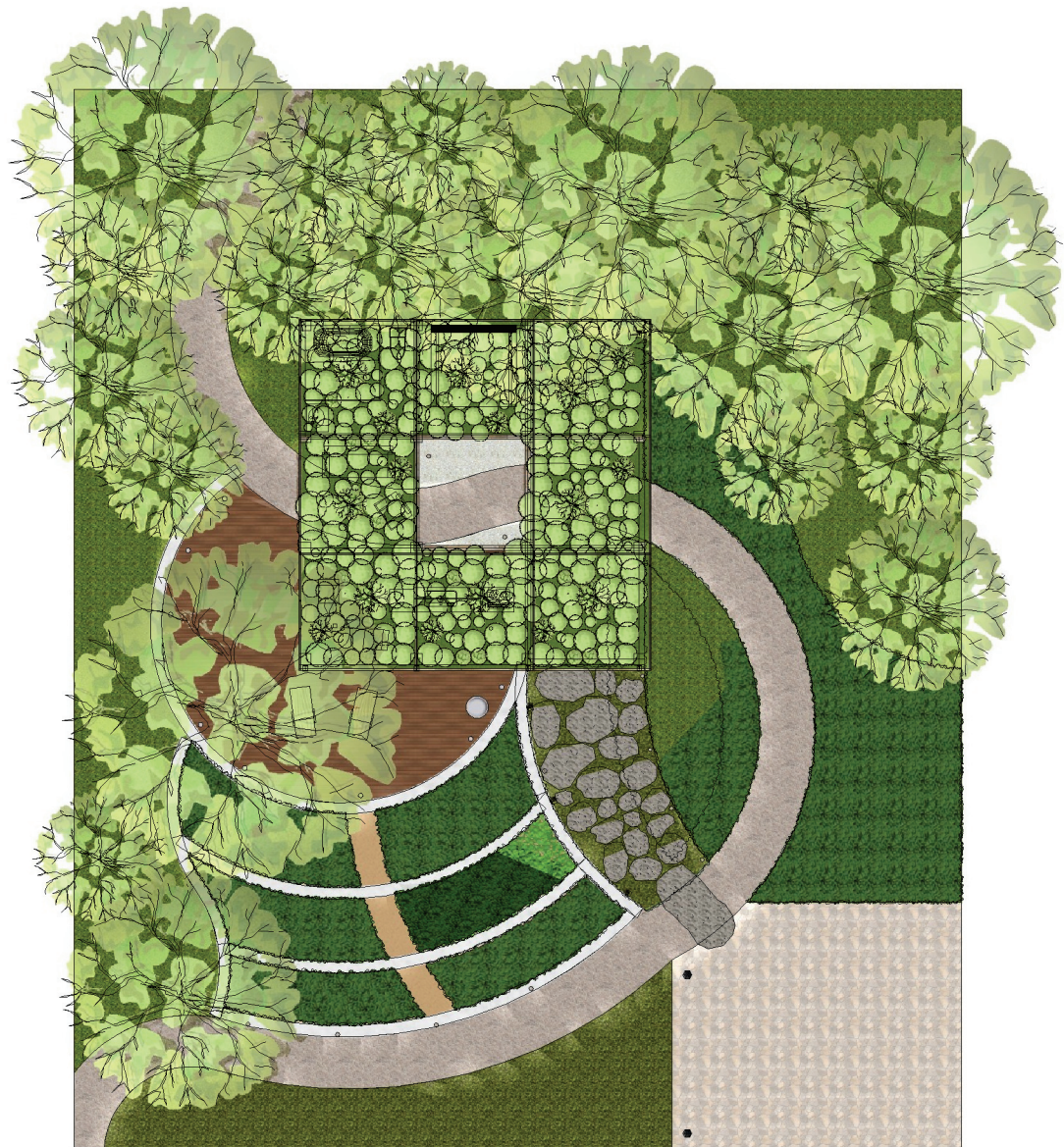
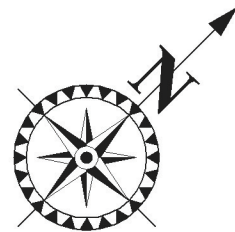


新しい部屋の名前は「庭」

住宅は部屋という一つの個体の集合体である。
庭はその集合体のなかの一つである。
しかし「庭」はその集合体から仲間はずれにされやすい。
今回は「庭」という部屋をメインにした住宅の提案。
これはある特定の人に対しての提案ではなく、
新しい庭の考え方を知って頂くための提案となっている。

また副題として、「人生の充実・自然との共生」をあげている。
人が充実感を感じる瞬間は人それぞれであり、共通のものではない。
しかし感情を支配しているのが五感というのは共通のものである。
五感 視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚。
つまりこの五つの感覚によって人の感情が変わってくる。
この五つの感覚が磨かれる事によって感情が豊かになる。
人の感覚も物も同じで使わないものはサビついてしまう。

この感覚を最大限に活用するのは「自然」の中。
この自然との触れ合いがなくなってきたことによって、
人の感情が失われつつあるのではないだろうか。
だからこそ「人生の充実」「自然との共生」
この大切さを伝えていきたい。



南東から望む



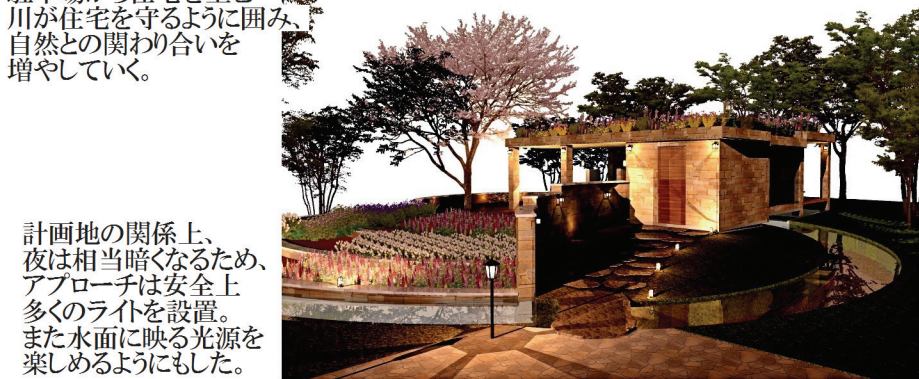
北東から望む



新しい部屋の名前は「庭」



駐車場から住宅を望む。
川が住宅を守るように囲み、
自然との関わり合いを
増やしていく。



計画地の関係上、
夜は相当暗くなるため、
アプローチは安全上
多くのライトを設置。
また水面に映る光源を
楽しめるようにもした。



すべての部屋をつなぐ屋根。
その上には植物達を。
夕焼けが綺麗な日には
屋根に上って夕焼けを。
星がきれいな日には
天体観測を。
芝生を張ってそんなことも。

このプランのメイン。
それは「庭」。
今回の設計による庭という意味は幅が広い。
庭の中心でもあるデッキ。
このデッキには通常では
リビング、ダイニング、キッチンと呼ばれるものがある。
リビングについているデッキではなく、
庭という部屋にリビングの機能が付いただけである。
ダイニング、キッチンも同様である。
しかしこれも庭という部屋。
そして自然との共生に欠かせない「植物園」を庭の一角に。
見て楽しむ植物園。香りを楽しむ植物園。
学ぶための植物園。食べるための植物園。
様々な顔があるが、すべてが感覚を磨くものだ。
また玄関、保管庫、寝室、水回り。
各部屋が住宅等集合体を成立させるために存在する。
この部屋を結ぶように屋根がかかっているが、
この屋根にも植物を。
この植物達の根が各部屋を結んでくれている。
そしてこの住宅があるのは森の中、
そして川が流れる場所である。
自然をより身近に感じられる場所に住宅を計画。
川が外部から庭という部屋を守るように計画も行っている。

今回の提案では外構というものではなく、
生活する住宅という空間を提案するもの。

花や植物、動物、空、星を視る。
葉のこすれる音、水の流れる音、鳥の鳴き声を聴く。
収穫した野菜、外で皆で食べる食事を味わう。
花の香り、調理中の料理、雨の匂いを嗅ぐ。
動物に、植物に、水に、土に触れる。
この五感を感じる庭を計画しました。
そしてこれが人生の充実の計画の一步になることを願って。



植物園を望む。
川による傾斜を生かして
段々畑に。
メインのデッキから
展望できるように。



北面から住宅を望む。
完全なプライベート空間に
入るためにはもう一度外に出る。
より自然を身近にするため、
また夏場はあ温度の上がる
南面の庭ではなく、
北面の庭で昼寝でも。



デッキスペースには
キッチン、ダイニング、
リビングがある。
しかし隔てる壁も窓もない。



寝室から中庭越しに
庭を望む。
中には川が流れるように、
住宅の床面をあげている。
また防犯面でも全体を
眺められるようにしてある。